



過酷な環境でも力強く稼働する、
電動式フォークリフト。

FE25-2 / FE30-2

Electric forklift truck

苗を植え、50年以上かけて大木へと育てる。そんな途方もない歳月を必要とする林業の世界。この世界で60年にもわたり木々と真正面から向き合い続けている企業がある。栃毛木材工業だ。林業、製材業、建築請負業といったようにそれぞれの分野だけを生業としている企業が多いなか、栃毛木材工業はこれらを一気通貫して手がけている数少ない企業である。

「周りからやってくれないかと言われたことをやっていくうちに、いろいろ手がけることになっちゃってね」と笑うのは関口弘社長だ。若い頃はどんな現場でもすべてこなしてきた関口社長。新しい機械の導入時には、必ず1番最初に乗って性能を確かめるという。

「林業全般を一貫して手がけている当社は作業内容が多様多様。丸太を扱う時もあれば、軽い大量のチップを扱う時もある。フォークリフトひとつでどんな環境でも対応できることはとても重要なポイントです。」

長年培ってきた機械に対する厳しい目がそこにはあった。その目の先には大きな丸太を持ち上げるFE30-2の姿。

「丸太を扱う工程は当社の中でも一番過酷な環境です。大量の丸太を一日中ずっと抱えることになるし粉塵も多い。こんな過酷な環境だけれどもFE30-2はエンジン車と比べても遜色がない。むしろそれ以上の動きを感じることもあります。そんな印象ですね。」



株式会社 栃毛木材工業

昭和34年に創業、同社の起源は材木屋（製材所）からはじまり60年以上と長い歴史を持つ。材木屋だからこそ『木の良さ・木の持つ特性』を熟知し、現在は木材業界の複雑な流通を、育林⇒林業⇒プレカット⇒建築と一本化し、高品質&低価格な住宅を提供している。林業から製材、設計建築まで全て木のことを知り尽くしている当社が手掛ける住宅は、安らぎと温もりに包まれた『百年先』を見据えた人に優しい住宅を提供している。



栃毛木材工業では「産業廃棄物を出さない工場をつくる、というメッセージを掲げている。自然の厳しさや優しさ、その恵みを日々肌で感じざるをえない林業という生業だからだろうか、SDGsやサステナビリティが声高に叫ばれる以前から取り組んでいる。2019年には工場内のすべての電気を、水銀灯からLEDに替えた。CO₂ゼロレベルへの取り組みにも積極的だ。現在はエネルギー事業も始動。バイオマス発電に向けて蒸気の生成を行っている。

「環境を考えた場合、最終的に性能やコスト(車両購入費、燃料費、メンテナンス費)の条件が一緒ならば、化石燃料や軽油を燃やして走るエンジン車よりも、排ガスの出ないバッテリー車を使うという判断をするのは経営者として当然。」と真剣なまなざしで語る関口社長。

長年にわたり大自然と真っ向勝負している企業の言葉は、重さが違う。

現在栃毛木材工業では7台のフォークリフトが稼働している。2021年5月に導入された電動式のFE30-2。このフォークリフト

は、製材前の皮剥きの工程で使われている。このFE30-2を巧みに操るのは桑川雅美さんだ。

「FE30-2に乗り始めて3カ月ぐらい経ちますかね。それまではエンジン車を使っていました。初めてのバッテリー車だったのと丸太を抱える作業がメインでパワーが必要だったこともあり、どの程度のパフォーマンスを見せてくれるのか不安はありましたね。けれども乗ってみたら全然違和感はなかったです。これなら他の作業工程でも、使い勝手よく作業ができるんじゃないかな。それにエンジン車はラジエーターの目詰まりなどがあってメンテナンスが面倒。オーバーヒート気味の状態になることも結構ありましたがFE30-2ならその心配もない。雨だから乗りにくいとかもありませんし、音も静かです。震動もほぼ感じないので、操縦していて疲れにくいとも思いました。」

自然環境を配慮しながらも、力強いパフォーマンスを実現するFE30-2は、持続可能な時代に必要なフォークリフトとして、林業のプロフェッショナルに納得してもらえたようだ。

経営において環境への配慮は大前提の時代。
基本機能だけではない、
環境性能も品質のひとつと考える。



株式会社栃毛木材工業
代表取締役 関口 弘 様



FE25-2 / FE30-2

■CO₂排出を大幅削減

電動式ゆえに排気ガスが出ず稼働も静か。
クリーンな空気で人にもやさしい。

■急速充電機能を搭載

1時間でバッテリー容量の80%まで充電が可能
可能な為、繁忙期や突発的な残業などへの対応が可能。

ディーゼル車と比べて
CO₂排出量 約 **1/3**

ディーゼル車

FEシリーズ



【ご利用上の注意】

- 本チラシの仕様および装備は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本チラシに印刷された車両の色調は、印刷の都合より実際の車両と多少異なって見えることがあります。
- 本チラシ記載の数値は、標準仕様のスペックを表記しています。

【お問い合わせ先】

コマツカスタマーサポート株式会社

〒108-0072 東京都港区白金1-17-3 [URL] <https://kcsj.komatsu/>

本チラシに関する動画はこちら

